



一隅を照らそう
3月号

374号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



気づき

住職 中島 有淳

三月は春彼岸の月です。

日本独特のこの月は仏教徒として仏の教えを積極的に学び、実践しようとする月で、同時に感謝の月の意味があります。

自分にとって、もっと努力できる点は更に精進し、自分の心のあり様をチェックしたいものです。

しかし、とかく欲の深いこの世の中につきり目標をもって生活してゆく事は至難の業です。

自分を変えるものは自分だけで、自分を救うものも自分だけです。ですから自分をしあわせにするのは自分だけで、自分をやる気にさせるのも自分だけです。

その自分は、心と欲がすべてを支配して導いていきます。

昔の諺に『縁無き衆生は、度し難し』という言葉があります。

この言葉は神仏の方から因縁を切って、縁が無くなるという意味ではありません。「神仏の縁は嫌い」とか「神仏との縁はいらないとか、結びたく無い」などと言って自分から神仏と離れていく人々の事をいいます。しかし、「縁」という言葉を換言すれば「恵み」という言葉を連想します。

私たちは恵みによって生きています。息をするために、空気や水が無ければ死に至り、地球の恵みによって多くの人々のお陰無くしては生きていけません。神仏は無言ですが、そこから離れていった人々にも、神仏はそのような人が気づいて帰ってくるのをいつまでも待ち続けています。また、「縁」は与えたり与えられたり、借りたり貸したり出来るものではありません。自分の心で作成り、自分の方から繋ぐものです。「度し難し」の「度」は「済度」の意味で神仏を離れて縁が無い人は説法や法話を聞いたり拝んだりする心が無く、自分から離れていってしまうので、救いたくても救うことが出来ないということです…。

そんなとくか 人間のものさし

うそかまことか 仏さまのものさし (あいだみつお)

人間は相互関係でいつでも生きています。ルールを捨てれば苦しくなってしまう。

こうしたことは本人が自分は正しいと確信している場合も多く、自分自身で間違いに気づく事が大切です。しかし、「思い」を自分の欲望のままに行動して強引に生きようと迫る人も見かけます。

これは私たちが六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天)の世界に迷っているのです。判断の基準となるのは仏の教えの八正道(正見・正思惟・正語・正業・正命・正精進・正念・正定)なのです。

くり返しになりますが、自分を救うものは自分だけで、自分を変えるのも自分だけです。つまり、自分をしあわせにするものは自分であり、自分をやる気にさせるのも自分だけと気づくのです。命の尊さ、当たり前前の有り難さ、仏さまのお心を知り学ぶ絶好の機会です。

私たちは仏さまから頼まれて生まれてきたのです。

ご先祖も大層お喜びの筈です。

折りふしのはな

スナツプえんどう

スナツプえんどうの
シヤキツとした食感が
春の訪れを

感じさせてくれます

花もまた愛らしく

そうそうそう云えば

ジャックと豆の木の話を

もう一度

読み返してみましょ!(遊)



月例行事案内

◎八日 午後二時

薬師如来祈禱会 観音経読誦

◎十二日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎十八日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎二十八日 午後二時

不動明王護摩供修行

* 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

どなたさまでも
ご参詣下さい

月例・止観(坐禅)会

* 3月8日(土)9:30~10:30
¥500 ※要予約

いっしょに歌いましょう

* 3月8日(土) 15:00頃より30分位
童謡・手遊び歌など
どなたでも、お子様も
広間にて(無料)

春休みお抹茶体験

* 3月28日(金)15:00~16:00
お抹茶を一服。普段着でお気軽に。
どなたでも、親子でも是非。
広間にて(無料)



あとがき

ロシアのウクライナ侵攻から三年(2/24)が経過。双方に大きな被害を与えています。和平交渉も仲々進まず、出口が見えませんが、世界中が情報に疑心暗鬼で判断も難しくなっています。

石破政権は予算案の成立にご苦労のようです。「政治とカネ」の話題も引きずって野党も一生懸命。政治家は日頃の行動が大切に責任も重く、大変な仕事だと思います。

大切な昔からの友人の訃報が入り、落ち込みました。割とあつけない最後でした。まだやり残した事がいくつかあつた筈なのに…。人の一生で特に最後は仲々思うようにはいきません…。

AIの世界が急成長とか。全く理解出来ない自分としては「冗談」にAIは、どの位通じるのでしょうか。おもしろいことは「アハハ」と笑ってくれるのでしょうか。それとも「オホホ」とか。笑いにはレベルがある筈です。エスプリに対しては、「三寒四温」から春の訪れも本格的になりそう。花の便りももう間近のようです。

梅一輪一輪ほどの暖かさ 嵐雪

合掌